

Dr.カワシマのプロ技伝授!

アドリブメソッド・フォー・ ジャズピアノ ①

Adlib Method for Jazz Piano

全てのKeyで練習して苦手なアドリブを克服!

川島 茂 著

CAD
CHUO ART PUBLISHING CO., LTD.

CONTENTS

はじめに----- 5

第1章 3連のノリを身に付けるトレーニング----- 7

3連のノリを身に付けるトレーニング① (B♭ブルースのコード進行による3連音符のトレーニング)

3連のノリを身に付けるトレーニング② (ブギウギのリズムを使用して3連符の感覚を身に付ける)

3連のノリを身に付けるトレーニング③ (フレーズに7thの音を利用する)

3連のノリを身に付けるトレーニング④ (フレーズに9thの音を利用する)

3連のノリを身に付けるトレーニング⑤ (Gブルースのコード進行による3連符のトレーニング)

3連のノリを身に付けるトレーニング⑥ (ブギウギのリズムを使用して3連符の感覚を身に付ける)

3連のノリを身に付けるトレーニング⑦ (フレーズに7thの音を利用する)

3連のノリを身に付けるトレーニング⑧ (フレーズに9thの音を利用する)

コラム Dr. カワシマのミニ・イントロ講座 - ①----- 16

第2章 ブルーノートに親しむ----- 17

ブルーノートに親しむ① (Fのブルース進行とブルーノートスケール)

ブルーノートに親しむ② (Fのブルース進行とブルーノートスケール)

ブルーノートに親しむ③ (6小節目に経過和音 Bdim が挿入される進行)

ブルーノートに親しむ④ (6小節目に経過和音 Bdim が挿入され、さらに7～8小節目がクリシェしていく進行)

ブルーノートに親しむ⑤ (Cのブルース進行とブルーノートスケール)

ブルーノートに親しむ⑥ (Cのブルース進行とブルーノートスケール)

ブルーノートに親しむ⑦ (6小節目に経過和音 F#dim が挿入される進行)

ブルーノートに親しむ⑧ (6小節目に経過和音 F#dim が挿入され、さらに7～8小節目がクリシェしていく進行)

コラム Dr. カワシマのミニ・イントロ講座 - ②----- 26

第3章 IIIm7 → V7 → I に慣れる----- 27

IIIm7 → V7 → I に慣れる① -a (コードの感覚をつかむ)

IIIm7 → V7 → I に慣れる① -b (コードの感覚をつかむ)

IIIm7 → V7 → I に慣れる② -a (ウォーキング・ベースの感覚を学ぶ)

IIIm7 → V7 → I に慣れる② -b (ウォーキング・ベースの感覚を学ぶ)

IIIm7 → V7 → I に慣れる③ -a (ウォーキング・ベースにコードを加える)

IIIm7 → V7 → I に慣れる③ -b (ウォーキング・ベースにコードを加える)

IIIm7 → V7 → I に慣れる④ -a (コードにテンションの音を加えてみる)

IIIm7 → V7 → I に慣れる④ -b (コードにテンションの音を加えてみる)

IIIm7 → V7 → I に慣れる⑤ -a (左手でコードを弾きながら右手で簡単なアドリブ・メロディを弾く)

IIIm7 → V7 → I に慣れる⑤ -b (左手でコードを弾きながら右手で簡単なアドリブ・メロディを弾く)

コラム Dr. カワシマのミニ・イントロ講座 - ③----- 38

第4章 IIIm7 → V7 → I を極める----- 39

- (1) ミクソ・リディアン・スケール習得メソッド① -a スケールの練習：前半
- (1) ミクソ・リディアン・スケール習得メソッド① -b スケールの練習：後半
- (1) ミクソ・リディアン・スケール習得メソッド② -a (スケールを使用したアドリブ例 (その1)：前半)
- (1) ミクソ・リディアン・スケール習得メソッド② -b (スケールを使用したアドリブ例 (その1)：後半)
- (1) ミクソ・リディアン・スケール習得メソッド③ -a (スケールを利用したアドリブ例 (その2)：前半)
- (1) ミクソ・リディアン・スケール習得メソッド③ -b (スケールを利用したアドリブ例 (その2)：後半)
- (1) ミクソ・リディアン・スケール習得メソッド④ -a
(V7上で展開するミクソ・リディアン・スケールにおいて、Ⅲマイナー・ペンタトニック・スケールを使用したアドリブ例：前半)
- (1) ミクソ・リディアン・スケール習得メソッド④ -b
(V7上で展開するミクソ・リディアン・スケールにおいて、Ⅲマイナー・ペンタトニック・スケールを使用したアドリブ例：後半)
- (2) Hmp5 ↓スケール習得メソッド① -a (スケールの練習：前半)
- (2) Hmp5 ↓スケール習得メソッド① -b (スケールの練習：後半)
- (2) Hmp5 ↓スケール習得メソッド② -a (スケールを使用したアドリブ例 (その1)：前半)
- (2) Hmp5 ↓スケール習得メソッド② -b (スケールを使用したアドリブ例 (その1)：後半)
- (2) Hmp5 ↓スケール習得メソッド③ -a (スケールを使用したアドリブ例 (その2)：前半)
- (2) Hmp5 ↓スケール習得メソッド③ -b (スケールを使用したアドリブ例 (その2)：後半)
- (2) Hmp5 ↓スケール習得メソッド④ -a (Ⅳ度間隔のフレーズを展開したアドリブ例：前半)
- (2) Hmp5 ↓スケール習得メソッド④ -b (Ⅳ度間隔のフレーズを展開したアドリブ例：後半)
- (3) オルタード・スケール習得メソッド① -a (スケールの練習：前半)
- (3) オルタード・スケール習得メソッド① -b (スケールの練習：後半)
- (3) オルタード・スケール習得メソッド② -a (スケールを使用したアドリブ例 (その1)：前半)
- (3) オルタード・スケール習得メソッド② -b (スケールを使用したアドリブ例 (その1)：後半)
- (3) オルタード・スケール習得メソッド③ -a (スケールを使用したアドリブ例 (その2)：前半)
- (3) オルタード・スケール習得メソッド③ -b (スケールを使用したアドリブ例 (その2)：後半)
- (3) オルタード・スケール習得メソッド④ -a トライアド・コードを応用したアドリブ例 (その1)：前半)
- (3) オルタード・スケール習得メソッド④ -b トライアド・コードを応用したアドリブ例 (その1)：後半)
- (4) コンディミ・スケール習得メソッド① -a (スケールの練習：前半)
- (4) コンディミ・スケール習得メソッド① -b (スケールの練習：後半)
- (4) コンディミ・スケール習得メソッド② -a (スケールを使用したアドリブ例 (その1)：前半)
- (4) コンディミ・スケール習得メソッド② -b (スケールを使用したアドリブ例 (その1)：後半)

- (4) コンディミ・スケール習得メソッド③-a (スケールを使用したアドリブ例 (その2) : 前半)
- (4) コンディミ・スケール習得メソッド③-b (スケールを使用したアドリブ例 (その2) : 後半)
- (4) コンディミ・スケール習得メソッド④-a (これぞコンディミなスケール : 前半)
- (4) コンディミ・スケール習得メソッド④-b (これぞコンディミなスケール : 後半)
- (5) リディアン7thスケール習得メソッド①-a (スケールの練習 : 前半)
- (5) リディアン7thスケール習得メソッド①-b (スケールの練習 : 後半)
- (5) リディアン7thスケール習得メソッド②-a (スケールを使用したアドリブ例 (その1) : 前半)
- (5) リディアン7thスケール習得メソッド②-b (スケールを使用したアドリブ例 (その1) : 後半)
- (5) リディアン7thスケール習得メソッド③-a (スケールを使用したアドリブ例 (その2) : 前半)
- (5) リディアン7thスケール習得メソッド③-b (スケールを使用したアドリブ例 (その2) : 後半)
- (6) ホール・トーンスケール習得メソッド①-a (スケールの練習 : 前半)
- (6) ホール・トーンスケール習得メソッド①-b (スケールの練習 : 後半)
- (6) ホール・トーンスケール習得メソッド②-a (スケールを使用したアドリブ例 : 前半)
- (6) ホール・トーンスケール習得メソッド②-b (スケールを使用したアドリブ例 : 後半)

・12のキー全てでアドリブができる必要性

さて、皆様の中には、

「ジャズで演奏するキーって大抵決まっているのに、なんで12のキー全て？」
とお思いの方もいらっしゃるかもしれません。

確かに、全体のキーとしては、C、F、Eb、G、Bbなどがほとんどです。

しかし、これらのキーは、曲中でしばしば調性（トナーリティー）が変わります。

「調性が変わる」というのは、早い話、「短い間隔での転調を繰り返す」という事です。

例えば、セッションなどで頻繁に演奏される曲に「チェロキー」という曲があります。この曲は

♩ = 280 くらいの超アップテンポで演奏されることが多いですね。

この曲、全体のキーはBbなのですが、調性は2小節単位でどんどん変わります。特にサビの部分はB⇒A⇒G⇒Fと4小節毎に変化していき、B、A、Gといった#系のキーを決してないがしろにすることは出来ないことを感じます。

Bといえば、#は5つです。私自身、訳が分からなくなってしまうキーの1つです。

全体のキーがBという曲は中々演奏しませんが、「チェロキー」の様に途中で4小節だけBになる時には、それを涼しい顔で弾けないと、聴いて下さる方に対してかっこ悪いというか、申し訳ないというか、とにかくそんな気分になってしまいますね。

皆様もこの本書で練習して、苦手なキーを無くす様に練習してみてください。

なお、本書の最初の2章では、ブルースの感覚、スイングのリズム感覚を養えるようなメソッドも紹介しています。併せて勉強してみてください。

また本書は2巻と併せてご使用されることをお勧めします。2巻は本書と密接した内容の続編になります。1巻と2巻を通して練習することにより、より効果的なメソッドとなる様に編集されています。

最後に、私が著書でいつも言っている言葉を皆様にお送りいたします。

“練習しない者は、上手くならない”

川島 茂

第1章 3連のノリを身に付けるトレーニング

第1章～第3章では、基本編的な内容のメソッドを紹介したいと思います。

この第1章では、ブルースのコード進行を用いたメソッドで、ブルースの基本的な感覚と、3連のフィーリングで8分音符を演奏するフィーリングを身に付けることを目標にします。

まず、ブルースのフィーリングについてです。

ブルースは長い間ジャズの基本的な形として演奏され続けられていました。

しかし近年は、あまりブルースの曲というのは演奏されることが少なくなっているような気がします。

その結果、私の生徒さんの中には、ブルースの演奏を不得意にしている方も増えています。

しかし、ブルースがジャズの基本的な形の1つであることには変わりはなく、演奏活動をする上では、避けては通れない道だと思うのです。

ですので、最初の章および次の章では、本書の大きなテーマである『II_m7⇒V7(トゥー・ファイブ)』ではなく、ブルースのコード進行によるメソッドを紹介することにしました。

また、なかなか教則本では身に付けにくい3連のノリのメソッドもあえて紹介しています。



『スイングしなけりゃ意味ないさ』というデューク・エリントンの曲もありますが、ジャズの醍醐味はスイング感にあります。

ですので、この章ではスイング感も身に付けていきたいと考えています。

ジャズの8分音符のノリ（スイング感）は、“”と言われます。

これは、拍の表の8分音符の長さと言裏の8分音符の長さが2：1になるという事です。

それもさりげなく出来なければなりません。

多くの方がこの3連のノリが“”ではなく“”という感じになってしまいます。

練習方法は、本書を通して言えることですが、必ずメトロノームを鳴らして練習して下さい。そして、メトロノームの音と自分の弾いているピアノの音が“ピタ”っと合うまで練習してみてください。

また、自分の演奏を録音してみて、客観的にメトロノームと合っているか、3連のリズムでノレているか…も確認してみるといいでしょう。

とにかく、ここで紹介したメソッドはジャズの基礎中の基礎ですから、必ず正しく身に付けて下さい。

第2章 ブルーノートに親しむ

この章では、より“ブルース・フィーリング”と“スイング感”という事について、より深めていきたいと思います。

ブルースといえば、欠かせないのがブルーノートの存在です。世界を代表するジャズのライブ・ハウスの名前になるくらいですから、どれほどブルーノートがジャズにおいて重要か分かるかと思えます。

ブルーノートというのは、ブルースの曲に多く用いられるスケール（音階）の事です。

第1章でも紹介したブルースのコード進行上で用いられることによって、より演奏がブルージーになる訳です。

ジャズの教則本では、まず間違いなく紹介されているスケールなのですが、実際のところ上手く用いることが出来ない人が多いかと思われます。

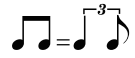
やはりこれは、スケールというものに対して構成音をただ単に覚えるのではなく、「どの様に用いるか」…という練習が足りていないのだと思います。

この章では、キーがFとCの場合のブルース進行を例に、ブルーノートを用いたアドリブ・フレーズを練習することを通して、ブルーノートに慣れていただくという趣旨のメソッドを紹介していきます。

あっそうだ…リズムの事も忘れないで下さいね。本書を通して、スイング感を養う事は決して忘れないようにして下さい。

ブルーノートに親しむ①

(Fのブルース進行とブルーノートスケール)



♩=72 ~ 107

Music by Shigeru Kawashima

F7 B \flat 7 F7

F7 B \flat 7

F7 Am7(b5) D7 Gm7

C7 F7 D7 G7 C7 F9

第3章 II m 7 \Rightarrow V7 \Rightarrow I に慣れる

第3章からは、本書の大きなテーマである、“II m 7 \Rightarrow V7 \Rightarrow I”について述べていきたいと思います。まず、この章では、「そもそも“II m 7 \Rightarrow V7 \Rightarrow I”とは何か？」という事に関して述べて行きたいと思います。

“II m 7 \Rightarrow V7 \Rightarrow I”は「トゥー・ファイブ・ワン」と呼ばれます。

意味は、あるキーにおける2度マイナーセブンス \Rightarrow 5度セブンス \Rightarrow 1度というコード進行を指しています。

キーがCの場合は、「D m 7 \Rightarrow G7 \Rightarrow C」というコード進行になります。

また“V7 \Rightarrow I”は単に「ドミナント・モーション」、 “II m 7 \Rightarrow V7”は単に「トゥー・ファイブ」とも呼ばれます。

ポピュラー音楽の世界では、通例的に“ある○ m 7からその完全4度上の●7に進行するコード進行”の総称として「トゥー・ファイブ」という言葉が用いられます。

ジャズのスタンダード曲においては、大変重要な進行で、ほとんどのスタンダード曲のコード進行は、この「トゥー・ファイブ」の組み合わせで出来ているといっても過言ではありません。

第3章では、まずこの“II m 7 \Rightarrow V7 \Rightarrow I”に慣れてもらう事から始めます。

簡単すぎて物足りない方も多いかもかもしれませんが、きちんとメトロノームを鳴らしながら練習して下さい。

あ、第4章からは突然難しくなりますから、覚悟しておいて下さい。

IIIm7 → V7 → I に慣れる① -a



(コードの感覚をつかむ)

♩=100 ~ 200

Music by Shigeru Kawashima

Dm7
G7
CM7

5
Cm7
F7
B♭M7

9
B♭m7
E♭7
A♭M7

13
A♭m7
D♭7
G♭M7

17
F♯m7
B7
EM7

21
Em7
A7
DM7

第4章 II m 7 \Rightarrow V7 \Rightarrow I を極める

第4章では、第3章でお約束した通り、突然難しくなります。

ジャズにおいて、“II m 7 \Rightarrow V7 \Rightarrow I”というコード進行が重要であることは先ほどもお話ししました。つまりは、この“II m 7 \Rightarrow V7 \Rightarrow I”でいかにアドリブをするか…が、ジャズにおいてはポイントになってくるわけです。

特に、V7のコード上では、数多くのスケールを用いることが出来るのですが、ここを如何に演奏するかによってアドリブがカッコよくも悪くもなる訳です。

第4章では、このV7のコード上で使用できるスケールをスケール毎に分類して紹介します。な～に、単に下記の6つしか無い（6つもあるのかよ！）ですから、順番に1つ1つ練習してみてください。

・V7のコード上で使用されるスケール

- ①ミクソ・リディアン・スケール
 - ②ハーモニック・マイナー・パーフェクト・5th・ビロウ・スケール (Hmp5 ↓)
 - ③オルタード・スケール
 - ④コンビネーション・オブ・デイミニッシュト・スケール (コンディミ)
 - ⑤リディアン・7th・スケール
 - ⑥ホール・トーン・スケール
- (*なお、本文中では②と④は、それぞれ② Hmp5 ↓、④コンディミと略称を使用しています。)

これらのスケールについて、いくつかのメソッドを全てのキーで紹介しています。最初はスケールを下から上に上がっていく簡単なものですが、中にはかなり難しいものもあります。メトロノームをゆっくりなテンポにセットして、焦らずにじっくり練習しましょう。

(1) ミクソ・リディアン・スケール習得メソッド①-a

Swing

♩=100~200



スケールの練習：前半

Music by Shigeru Kawashima

Musical notation for measures 1-3. Chords: Dm7, G7, CM7.

Musical notation for measures 4-6. Chords: CM7, Cm7, F7.

Musical notation for measures 7-9. Chords: B♭M7, B♭m7.

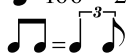
Musical notation for measures 10-12. Chords: E♭7, A♭M7.

Musical notation for measures 13-15. Chords: A♭m7, D♭7, G♭M7.

(2) Hmp5 ↓ スケール習得メソッド① -a

Swing

♩=100~200



(スケールの練習：前半)

Music by Shigeru Kawashima

Musical notation for measures 1-3. Chords: Dm7, G7, CM7.

Musical notation for measures 4-6. Chords: CM7, Cm7, F7.

Musical notation for measures 7-9. Chords: Bbm7, Bbm7.

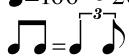
Musical notation for measures 10-12. Chords: Eb7, AbM7.

Musical notation for measures 13-15. Chords: Abm7, Db7, Gbm7.

(3) オルタード・スケール習得メソッド①-a

Swing

♩=100~200



(スケールの練習：前半)

Music by Shigeru Kawashima

Musical notation for measures 1-3. Chords: Dm7, G7, CM7.

Musical notation for measures 4-6. Chords: CM7, Cm7, F7.

Musical notation for measures 7-9. Chords: Bbm7, Bbm7.

Musical notation for measures 10-12. Chords: Eb7, AbM7.

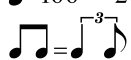
Musical notation for measures 13-15. Chords: Abm7, Db7, Gbm7.

(4) コンディミ・スケール習得メソッド①-a

Swing

♩=100~200

(スケールの練習：前半)



Music by Shigeru Kawashima

Musical notation for measures 1-3. Chords: Dm7, G7, CM7.

Musical notation for measures 4-6. Chords: CM7, Cm7, F7.

Musical notation for measures 7-9. Chords: B^bM7, B^bm7.

Musical notation for measures 10-12. Chords: E^b7, A^bM7.

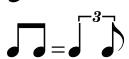
Musical notation for measures 13-15. Chords: A^bm7, D^b7, G^bM7.

(5) リディアン 7th スケール習得メソッド① -a

Swing

♩=100~200

(スケールの練習：前半)



Music by Shigeru Kawashima

Musical notation for measures 1-3. Chords: Dm7, G7, CM7.

Musical notation for measures 4-6. Chords: CM7, Cm7, F7.

Musical notation for measures 7-9. Chords: Bbm7, Bbm7.

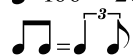
Musical notation for measures 10-12. Chords: Eb7, AbM7.

Musical notation for measures 13-15. Chords: Abm7, Db7, Gbm7.

(6) ホール・トーンスケール習得メソッド①-a

Swing

♩=100~200



(スケールの練習：前半)

Music by Shigeru Kawashima

Dm7 G7 CM7

CM7 Cm7 F7

B♭M7 B♭m7

E♭7 A♭M7

A♭m7 D♭7 G♭M7

コラム Dr. カワシマのミニ・イントロ講座 - 4

③ 出だしのコードを度数でつかもう (その1)

⇒ 曲の出だしのコードを度数でつかみ、イントロ 8 小節を度数で考えてみよう!

では、次に実際にイントロを弾くためのノウハウを学んでいきましょう。

◎ ポイントは、出だしのコード

イントロの最後のコードを出だしのコードに対してのドミナント 7th のコードにして、テーマにつなげる様に考えます。

(例) Key=C の場合

- (1) 出だしのコードが C の時 ⇒ G7 でテーマにつなげる
- (2) 出だしのコードが Dm7 や D7 の場合 ⇒ A7 でテーマにつなげる
- (3) 出だしのコードが Fm7 の場合 ⇒ C7 でテーマにつなげる etc

◎ ではそこまでどう持っていくか?

度数でコード進行を考えるようにします。

(i) メジャー・キーの場合の考え方

(1) 出だしのコードが I 度の時 ⇒ V7 でテーマにつなげる

I	VI7	II m7	V7	
III m7	VI7	II m7	V7	~ I 度のコード

(2) 出だしのコードが II 7 や II m7 の場合 ⇒ VI 7 でテーマにつなげる

II m7	V7	III m7	VI7	
II m7	V7	I	VI7	~ II7 のコード

(ii) マイナー・キーの場合の考え方

(1) 出だしのコードが Im の時 ⇒ V7 でテーマにつなげる

Im7	VI m7 (b5)	II m7 (b5)	V7	
Im7	VI m7 (b5)	II m7 (b5)	V7	~ Im7 のコード

(2) 出だしのコードが II m7 (b5) の場合 ⇒ VI7 m7 (b5) でテーマにつなげる

II m7 (b5)	V7	Im7	VI bM 7	
II m7 (b5)	V7	Im7	VI m7 (b5)	~ II m7 (b5) のコード

このコラムは、第 2 巻に続きます。次のコラムでは練習問題を紹介します。



■ 著者プロフィール

川島 茂(かわしま しげる)

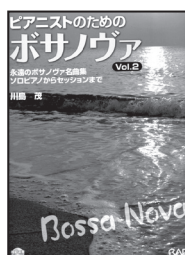
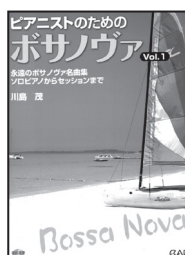
生年月日：1968(昭和43)年1月16日

血液型：A型

昭和49年6月、ピアノのレッスンを開始。中学生のときテレビで見た映画「ベニィ・グッドマン物語」に影響を受け、独学でジャズを始める。大学時代はアマチュア活動としてライブハウスなどで活動するも、卒業とともに就職する。

しかし平成6年、26歳のとき、プロになる夢を捨てきれず、脱サラ。プロとしての活動を開始する。その後は、歌の伴奏、インスト両方をこなすピアニストとしてホテル、バー、ライブハウスなどで活動中。

□ 川島 茂の好評既刊書 □



◆ピアニストのためのボサノヴァ1 ◆ピアニストのためのボサノヴァ2

菊倍判 80頁 各巻定価(本体2,500円+税)CD付

全曲アントニオ・カルロス・ジョビンの名曲で構成されたボサノヴァ名曲のピアノアレンジです。

曲のエピソードや、演奏アドバイス、ライブで弾いても聴きごたえあるクオリティの高いアレンジ、模範演奏CDと、リードシートの掲載。ピアニストに必要な情報とノウハウ満載の1冊!



◆Dr.カワシマの わたしにもJAZZが弾けた!<入門編> ◆Dr.カワシマの わたしにもJAZZが弾けた!<アドリブ編>

<入門編> B5判/120頁 定価(本体2,000円+税)/CD付

<アドリブ編>B5判/144頁 定価(本体2,200円+税)/CD付

Dr.カワシマと一緒にジャズを学ぼう!『音大卒だが、ジャズは初めて』という生徒、山田さんと、山田さんに丁寧にジャズをレッスンする『Dr.カワシマ』のやりとりを会話形式で進行。難解な用語は使用せず、とにかく楽しくジャズを始めたいという方にとって画期的なジャズ導入書です。

川島茂ジャズ・ピアノ教室

私自身が、ジャズピアニストとして活動しているため、定期的なレッスン日を設けることが出来ず、完全予約制の個人レッスンのみ行っております。入会金1万円、1レッスン50分¥5,000-です。

ご興味のある方は、pianity@nifty.com まで、レッスン希望の旨ご連絡下さい。追って、詳しいレッスンの内容についてのメールを返信いたします。

アドリブメソッド・フォー・ジャズピアノ①

C130330-1 (1.0x)

2013年3月30日 初版第1刷発行

著者：川島 茂
表紙：あーむ巧芸
印刷：美研プリンティング



発行者：吉開 狭手臣

発行所：CAD 中央アート出版社

〒101-0031 東京都千代田区東神田1-11-4

TEL 03-3861-2861(代表)

FAX 03-3861-2862

振替口座 00180-5-66324

小社への御意見・御希望は E-mail: info@chuoart.co.jp
ホームページ: http://www.chuoart.co.jp

ISBN978-4-8136-0719-9

本書の無断複製・転載を禁じます。
落丁・乱丁の際はお取替え致します。